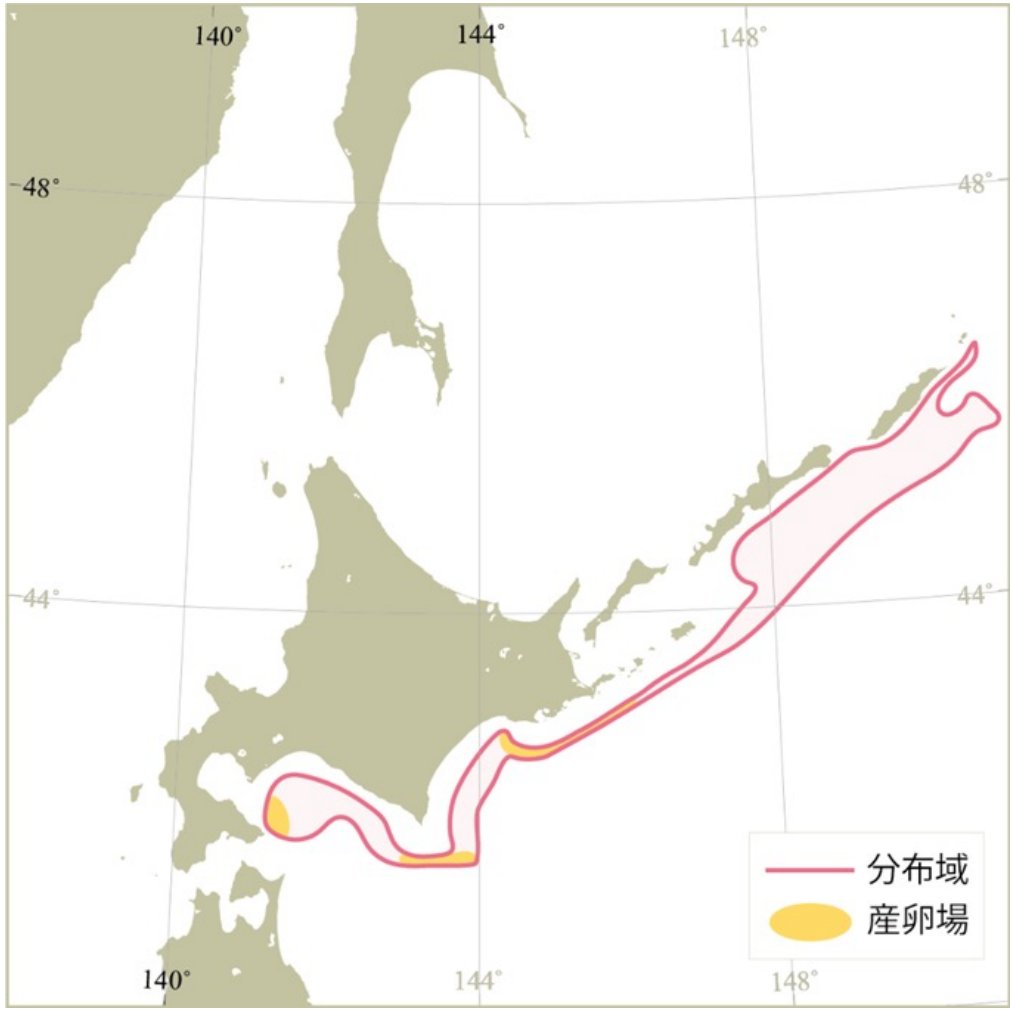
キチジ道東・道南
令和５年度資源評価結果

生物学的特性

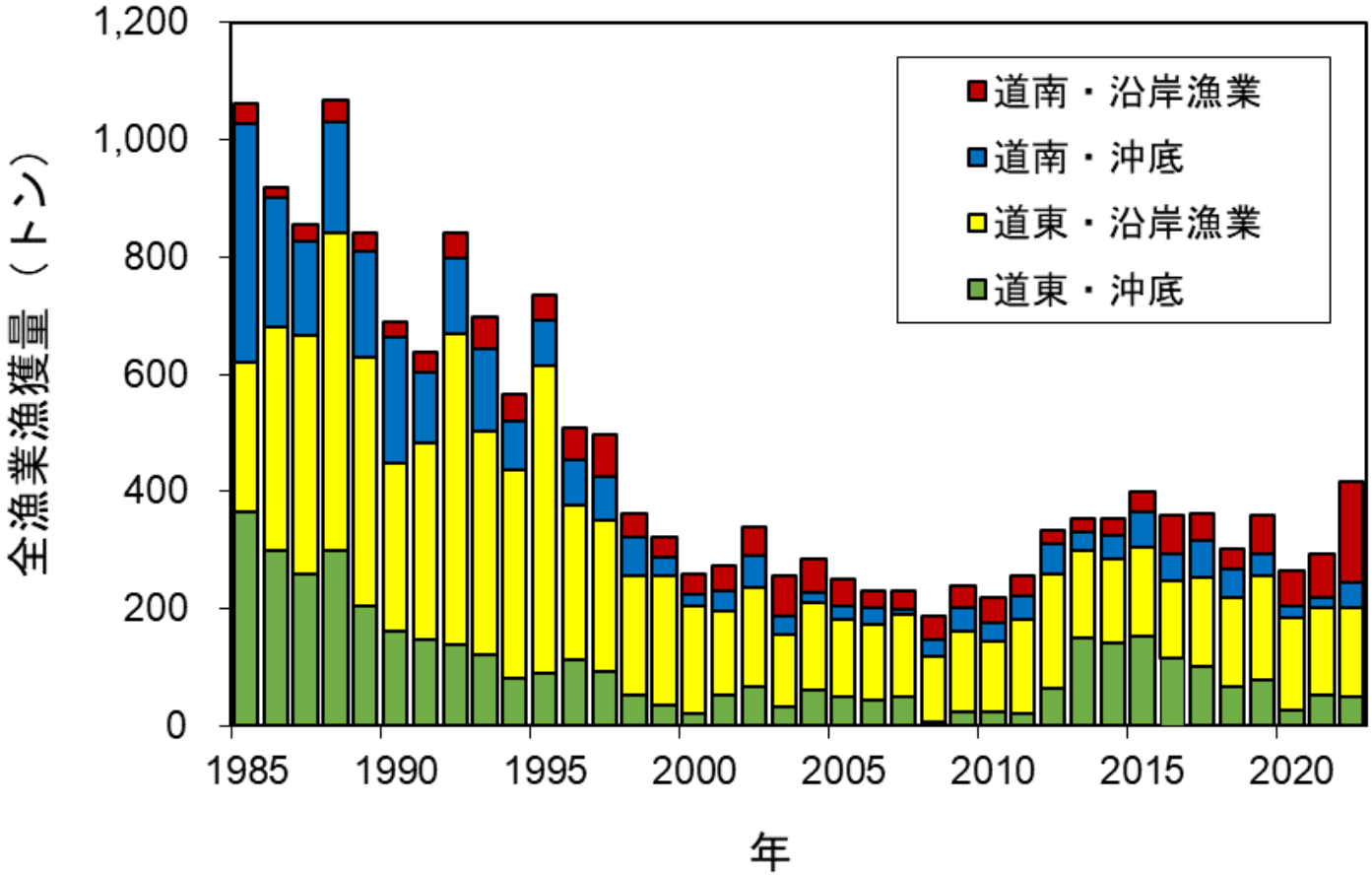


生物学的特性

- 寿命：不明
- 成熟開始年齢：
  雌6～10歳（50%）、雄不明
- 産卵期・産卵場：
  3～5月、恵山海丘、襟裳岬沖、釧路沖、落石沖の山状地形の周辺（水深400～850m）
- 食性：クモヒトデ類、ヨコエビ類、オキアミ類、エビ・カニ類、多毛類、魚類など
- 捕食者：マダラ、アブラガレイ、キチジ（共食い）

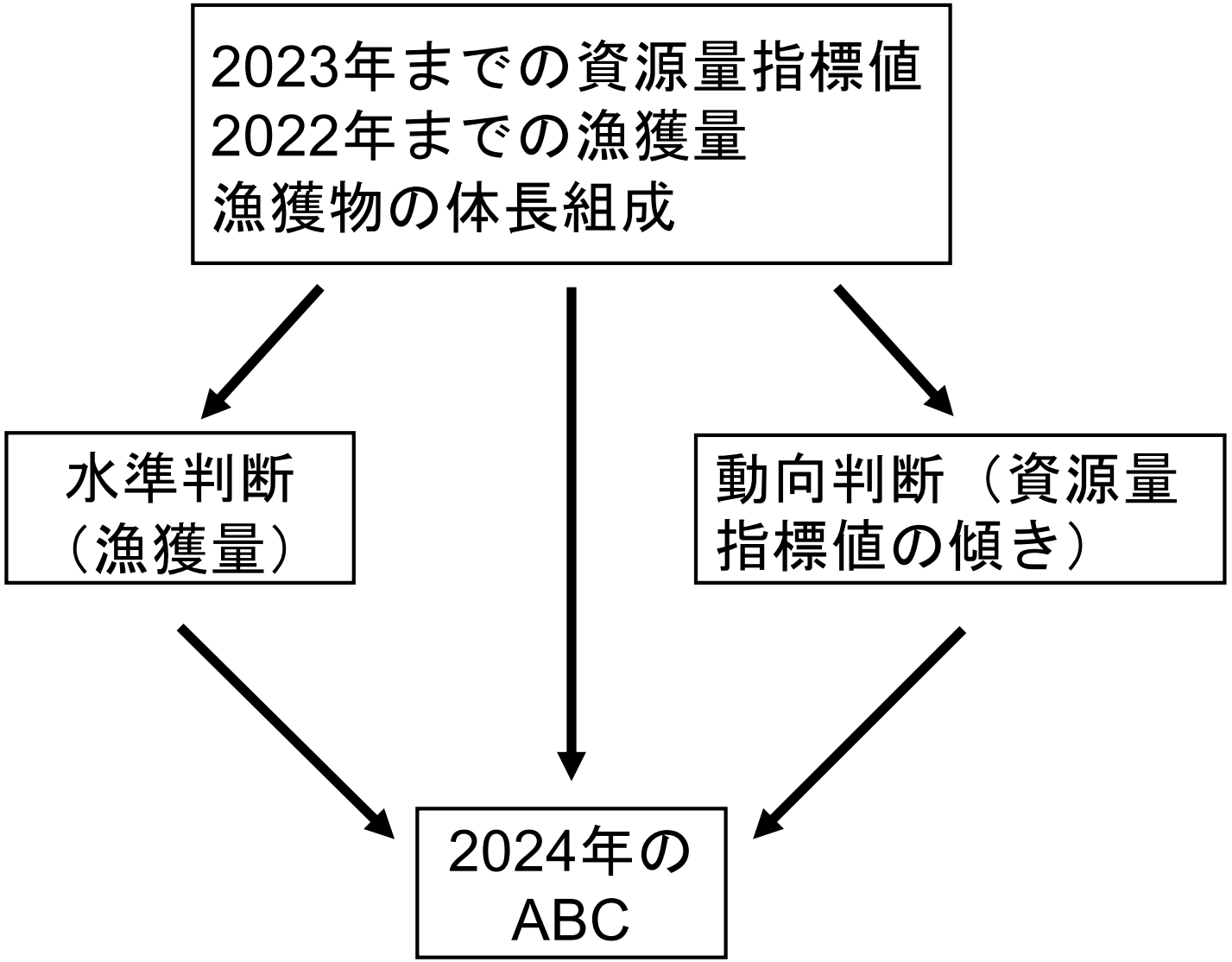
- 主な分布水深は300～900m

漁獲の動向

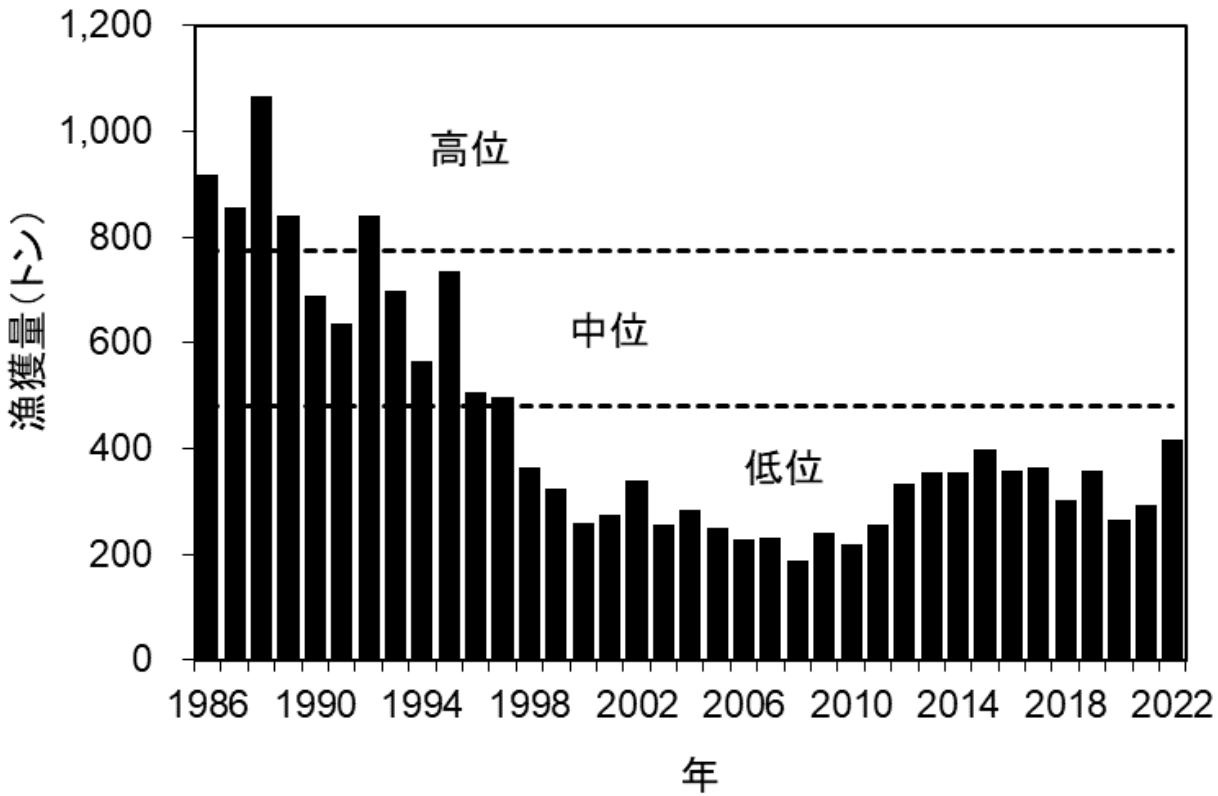


- 沖合底びき網漁業（沖底）や沿岸漁業（えびこぎ網漁業、刺し網漁業）により周年漁獲
- 1985年には1,000トンを超えていた漁獲量は、1998年以降は概ね200～300トン程度にまで減少したが、2012年以降にやや増加した後、2022年には416トンとなった

資源評価の流れ


2023年までの資源量指標値
2022年までの漁獲量
漁獲物の体長組成
水準判断
（漁獲量）
動向判断（資源量
指標値の傾き）
2024年の
ABC

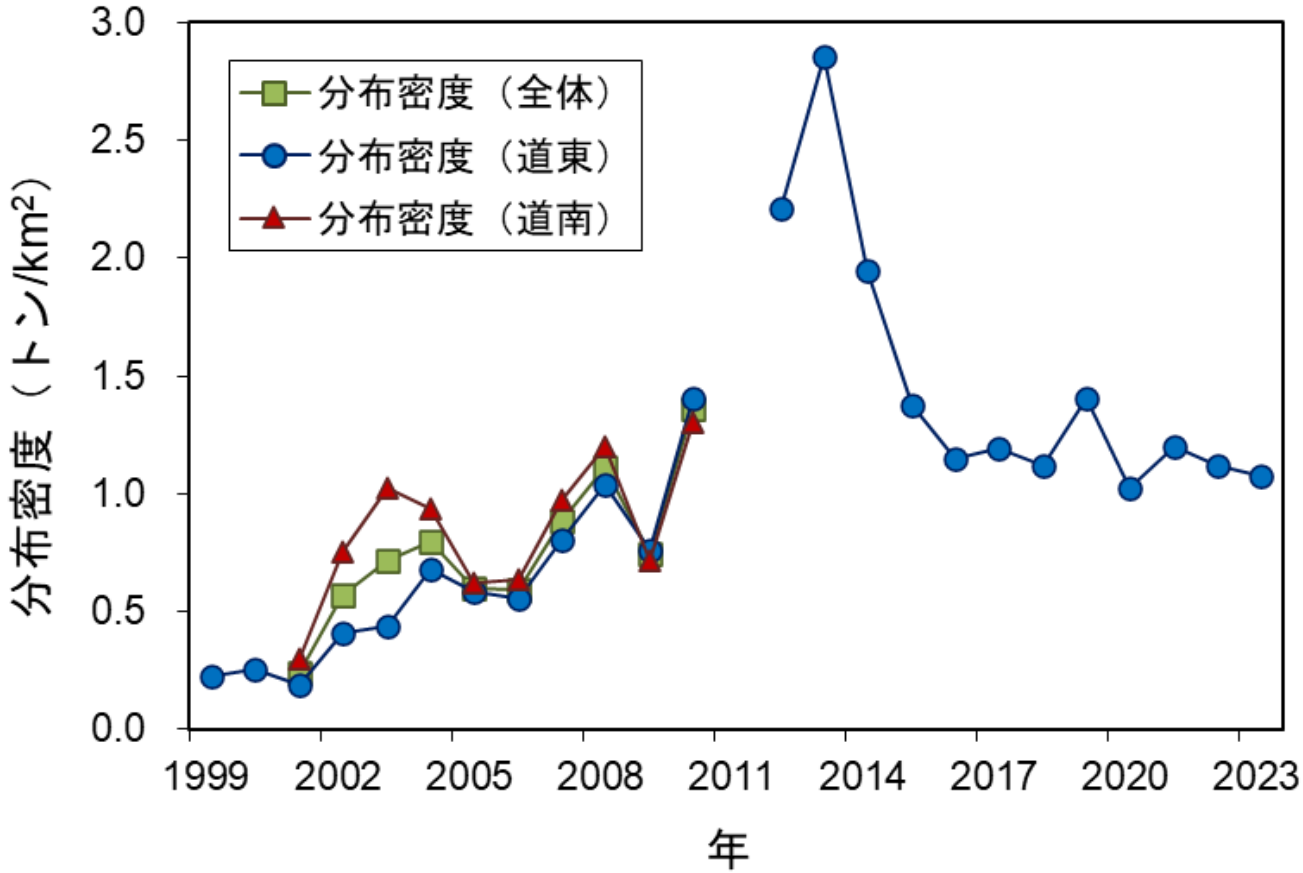
資源の動向①



※水準区分　低位／中位：漁獲量481トン、中位／高位：漁獲量774トン
（過去37年間（1986～2022年）の漁獲量の最高値～最低値を3等分して算出）

- 過去37年間（1986～2022年）の漁獲量の推移から資源水準を判断
- 資源水準：2022年の漁獲量は416トンであり「低位」

資源の動向②



- 資源量指標値（トロール調査結果に基づく分布密度推定値）により動向を判断
- 資源動向：直近5年間（2019～2023年）の資源量指標値の推移から「横ばい」

※トロール調査：底魚類共同資源調査

資源評価のまとめ

- キチジ道東・道南の資源水準は「低位」、動向は「横ばい」
- 漁獲量の推移から資源水準を判断し、調査船調査による資源量指標値（分布密度推定値）の推移から資源動向を判断

2024年ABC

管理基準	Target/Limit	2024年ABC（トン）	漁獲割合（%）	F値（現状のF値からの増減%）
0.7・Cave3-yr・0.94	Target	170	–	–
	Limit	210	–	–

- ABC算定規則の2-1）により、ABClimit=δ_1・Ct・γ_1で計算
- δ_1: 0.7（低位水準での推奨値）
- Ct：Cave3-yr（直近3年間（2020～2022年）の漁獲量平均値）
- γ_1：0.94（直近3年間の資源量指標値の傾きと平均値から算定される係数）